

第22回

名月と萩の夕べ

2018年9月22日(土)

18時30分開演

関市役所 市民広場 (雨天 市役所アトリウム) 入場無料

第1部 インドの百弦琴、サントウールの演奏 ジミー宮下

1955年鹿児島県生まれ。関市在住。

サントウール奏者。ミュージックセラピスト。1992年より、インド・ムンバイにて世界的サントウール奏者で人間国宝のパンディット・シブクマール・シャルマ氏に師事する。NHKはじめ国内・インドでのTV・ラジオ出演多数。2017年インドのメディアサイトBETTER INDIAより、世界で活躍する外国人インド古典音楽家8名に選出された。国内外で精力的に演奏活動を行っている。



(コンサート第1部と第2部との間に「名月と萩の夕べ」文芸大会の入選作品発表を行います。)

第2部 長唄三味線の演奏 桃華の会 (とうかのかい)



長唄の杵屋勝桃、勝千華の母娘(愛知県東郷町)が主宰する「桃華の会」は、毎年名古屋で一門の定期演奏会を開催し、伝統邦楽である長唄三味線を広める団体である。

長唄三味線を正しく完全な形で継承し次世代へ伝えるために、ワークショップや学校訪問等の普及活動を積極的に行なっている。また日本の伝統文化を広めるため、ハワイオアフ島で教室を開催し、施設への慰問や公演を行っている。

その他イベント ●17時45分頃～ 外国人によるお茶席コーナー(関市国際交流協会)

場所: 正面玄関前 / 呈茶券: 300円(お茶、菓子付)

※菓子がなくなり次第終了します。